

<第1回：現地到着ー観測装置の組み付けと試験>

11/18 1日目

日本からオスロへ移動

11/19 2日目



乗り継ぎの都合上オスロで待機となりました。写真は散歩で寄った市内の公園。昼が短く気温は5度以下でした。

11/20 3日目



オスロからトロムゾ経由でスバルバード、スピッツベルゲン島のロングヤーベンに移動しました。写真は北緯70度に位置するトロムゾ上空で、正午近くですが太陽は沈んでいます。



北緯78度のロングヤーベンの町並み。2000人くらいの住人がいるそうです。ここで一泊しました。ここまでは観光でも来ることが出来ます。気温は-5度程度でなんとか耐えられました。ずっと夜ですがランプを見ると風光明媚な所のようにです。

11/21 4日目



朝からロングヤーベンから島の北部に位置するニーオルスンに、小型機で移動しました。島内での移動ですが更に 5 度くらい気温が下がりました。ニーオルスンは北緯 79 度になります。



ニーオススの町に到着しました。ここは国際的な科学調査センターという位置づけで、様々な国の科学者が 40-100 人程度生活しているそうです。左の建物が食堂です。



先に輸送していた観測機 (FBLP と LEP) のコンテナと再会しました。この日、FBLP はペイロードに搭載しましたが、LEP は木箱から出ただけでした。



滞在施設の部屋は ISAS ロッジの上に行くコンパクトさですが、収納やデザインにいちいちセンスがあります。カーテンの後ろの窓際には非課税で買えたビールを並べました。

11/22 5 日目



ペイロードの作業棟、土曜日なのでブランチ後の正午から作業開始しました。この食堂では土日はブランチとディナーの2食制です。平日は朝、昼、晩、夜の4食制でした。



LEP のペイロードへの搭載作業を行いました。この後観測機の単体チェックを行い問題が無いことを確認しました。